

みずほCustomer Desk Report 2024/04/19 号(As of 2024/04/18)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	154.46
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	154.34	1.0669	164.66	1.2452	0.6439
SYD-NY High	154.68	1.0690	164.95	1.2484	0.6456
SYD-NY Low	153.96	1.0642	164.39	1.2433	0.6417
NY 5:00 PM	154.65	1.0644	164.61	1.2438	0.6421
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,775.38	22.07	日本2年債	0.2700%	▲0.0100%
NASDAQ	15,601.50	▲ 81.87	日本10年債	0.8600%	▲0.0300%
S&P	5,011.12	▲ 11.09	米国2年債	4.9894%	0.0561%
日経平均	38,079.70	117.90	米国5年債	4.6794%	0.0618%
TOPIX	2,677.45	14.30	米国10年債	4.6358%	0.0474%
シカゴ日経先物	37,820.00	10.00	独10年債	2.4925%	0.0225%
ロンドンFT	7,877.05	29.06	英10年債	4.2750%	0.0150%
DAX	17,837.40	67.38	豪10年債	4.3050%	▲0.0780%
ハンセン指数	16,385.87	134.03	USDJPY 1M Vol	8.55%	▲0.89%
上海総合	3,074.22	2.84	USDJPY 3M Vol	8.87%	▲0.35%
NY金	2,398.00	9.60	USDJPY 6M Vol	9.14%	▲0.26%
WTI	82.10	▲ 0.05	USDJPY 1M 25RR	▲1.54%	Yen Call Over
CRB指数	295.60	1.16	EURJPY 3M Vol	8.77%	▲0.42%
ドルインデックス	106.15	0.20	EURJPY 6M Vol	9.15%	▲0.40%

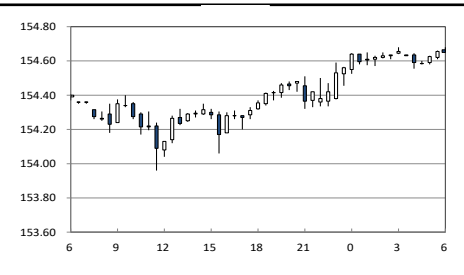
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月18日	08:15	米 ボウマンFRB理事 講演	インフレ鈍化は、おそらく停滞している	
	10:30	豪 NAB企業信頼感	1Q -2	-
	10:30	豪 失業率	3月 3.8%	3.9%
	10:30	豪 雇用者数変化	3月 ▲6.6K	10K
	21:30	米 フィデリティ連銀景況	4月 15.5	2
	21:30	米 新規失業保険申請件数	13-Apr 212K	215K
	22:15	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	利上げが必要であれば行う	
	23:00	米 中古住宅販売件数	3月 4.19M	4.20M
4月19日	00:00	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演	金利を据え置くことに違和感ない	

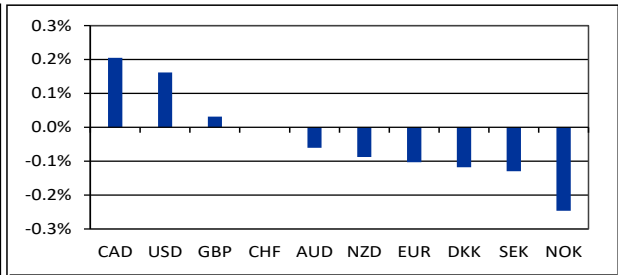
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月19日	08:30	日 全国CPI/全国コアCPI	3月 2.8%/2.7%	2.8%/2.8%
	08:30	日 全国コアコアCPI	3月 3.0%	3.2%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	3月 0.3%/1.0%	0.2%/-0.5%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	3月 0.1%/-3.3%	-0.4%/-4.1%
	23:15	英 ラムステンBOE副総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.00-155.00	1.0600-1.0720	164.00-165.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は介入警戒感から下落するも、その後は154円台後半まで上昇。神田財務官から「為替を含む過去のG7における政策対応に関するコミットメントが再確認された」との発言を受けて一時154円を割り込むも、複数のFed高官から「利下げを急ぐべきではない」などといったタカ派発言があった他、ウィリアムズ・NY連銀総裁からは利上げの可能性について言及があるなど、米金利上昇を背景としたドル高が進んだ。本日のドル円は154円台での底堅い推移を予想する。足元の堅調な米経済を受けてFedは利下げ後ろ倒し姿勢を明確化しており、年内の利下げ織込みは1.5回まで剥落。鈴木財務相、神田財務官からも「為替はG7及びG20の議題ではなかった」と述べるなど、ドル高は容認される公算が高く、本邦における介入警戒感も幾分か薄れている。とはいえ、155円に近づくに連れて神経質な展開となることは避けられないだろう。

東京	東京時間のドル円は154.34レベルでオープン。午前11時過ぎに神田財務官より「為替を含む過去のコミットメントをG7共同声明で再確認した」との発言を受けて、ドル円は153.96まで下落。下値では買い圧力も強く、午後には下落前の水準まで値を戻した。米長期金利が低下する中、ドル円は上値重く推移し、154.17レベルでクロス。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、154.17レベルでオープン。米利下げ観測の巻き戻しが継続。米長期金利の上昇につれてドルが全般に強く154.37レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台半ばでスタート。神田財務官の「日本の主張を踏まえ、為替を含む過去のG7における政策対応に関するコミットメントが再確認されている」との発言が伝わると、円買いが優勢となり、153.96まで下落。しかし、その後は日経平均株価の堅調な動きや、低下していた米金利が上昇する展開を受け反発し、154.37レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数共に予想を下回り、米労働市場が依然逼迫している結果からドル買いが優勢となる。その後、ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁が「経済指標で目標達成に利上げが必要と示されれば、当然そうしたい」と今後利上げの可能性も否定できない」との認識を示した事を受け、ドル買いが一段と強まり、154.65まで上昇。午後ドル高の流れが続き、終盤では154.68を付け、その後154.65レベルでクロス。一方、海外時間のユーロは1.06円台後半でスタート。じり高で推移し、1.0690まで上昇する。しかし、その後は米金利が上昇する展開が上値を抑え、反落し1.0678レベルでNYオープン。午前中は先述のウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁の効派発言を受け、米金利が上昇幅を拡大する動きが下押し要因となり、1.0660近辺まで下落。午後ドル買い地合いが一段の重しとなり、1.0642まで続落し、その後1.0644レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。